



看護とちぎ



足利市 「あしかがフラワーパーク」

CONTENTS

- 2 栃木県看護協会通常総会の開催にあたって
- 3 通常総会提出議題
- 4 平成29年度 公益社団法人栃木県看護協会 通常総会プログラム
平成29年度 公益社団法人栃木県看護協会 職能集会プログラム
- 5 平成29年度 重点事業
- 6 平成29年度 事業計画
- 10 資金収支予算書
- 12 平成29年度 公益社団法人栃木県看護協会 理事・監事・委員候補者一覧
- 18 平成30年度 公益社団法人日本看護協会通常総会 代議員並びに予備代議員
- 14 看護職のワークライフ・バランス(WLB)推進事業～3年間の取り組み～
- 16 平成29年度入会申し込み受け付け中!
- 17 一般の方へのコーナー 脳卒中予防十か条
- 18 お知らせ

会員数 9,054人 (H29.4現在)

保健師	427人 (13人)
助産師	279人
看護師	7,711人 (671人)
准看護師	637人 (48人)

男子は()で再掲

平成29年度栃木県看護協会通常総会の開催にあたって

公益社団法人栃木県看護協会 会長 渡邊 カヨ子



早いもので、平成29年度栃木県看護協会総会が開催される時期になりました。私も会長に就任して1年が経ちました。この間、皆様にはご支援とご協力を賜り心より感謝申し上げます。平成28年度事業に関しましては、おおむね計画通りに進められたと評価し、これもひとえに皆様のおかげと感謝いたしております。

さて1年間を振り返りますと、我々が最も心を砕いたことは、公益法人としての「健全経営」という視点でした。公益法人といえども収支バランスを取らないと協会運営が危ぶまれる状況になります。組織の第一義は存続にありますので、安定した経営ができるような方策を考えてまいりました。ポイントは費用削減と収入増加であります。費用削減については事業項目ごとに費用対効果を念頭に見直しをしました。収入増加としては第一に会員拡大であります。その一助として会員特典について新たに着手しました。看護職が生き生きと元気で働き続けるため

の「リフレッシュ」と「健康増進」をコンセプトに多業種の企業と優待契約を結びました。ほかに寄付金の募集も広報いたしました。詳しくは栃木県看護協会のHP（ホームページ）の「会員特典のご案内」と「寄付募集のご案内」をご覧くださいければ幸いです。

平成29年度の事業計画では、費用を削減し何年かぶりにわずかな黒字で事業計画の立案ができました。重点事業に関しましては、平成28年度の事業をおおむね踏襲する形といたしました。

また今後、平成30年度から市町村主導となる地域包括ケアシステムを踏まえて、地区支部の再構築に踏み出しました。看護職能として地域全体を俯瞰しつつ地域に根差した活動をしていくことが必要と考えております。

今後も国・県の政策を把握しつつ事業運営をして参りたいと思います。平成29年度もよろしくお願いいたします。

通常総会提出議題

公益社団法人日本看護協会の平成29年度通常総会は平成29年6月6日(火)7日(水)、幕張メッセ・幕張イベントホールで開催されます。栃木県看護協会通常総会は6月17日(土)とちぎ健康の森講堂で開催いたします。会員の皆さま一人ひとりに提出議題を十分にご検討いただけますように、その内容についてお知らせいたします。

報告事項

報告事項1 平成28年度活動報告

重点事業を中心に事業を展開した。詳細は、「平成29年度総会要綱」に掲載する。

報告事項2 平成28年度決算報告及び監査報告

決算及び監査の内容については、「平成28年度決算報告書・平成29年度収支予算書」に掲載する。

報告事項3 平成29年度重点事業及び事業計画 (P5～9 参照)

報告事項4 平成29年度収支予算 (P10～11 参照)

[平成29年度重点事業]

I 公益目的事業

1. 看護の安全性・専門性の向上と実践能力の強化

少子超高齢社会の対応、医療・介護提供体制の改革の動きなどから、看護職に期待される役割・能力はますます大きくなっています。いかなる場所で働く看護職であっても、社会からの要請に応えるため、質の高い看護を提供できるよう研修の充実を図ります。

- (1) 看護職全体の実践能力の強化のため、研修内容の充実を図ります。また、看護管理者の育成に力を注ぎます。
- (2) 訪問看護師養成研修、訪問看護師新人研修、訪問看護ステーション管理者研修等を実施し在宅医療を担う人材の育成を図ります。
- (3) 看護職能Ⅱを対象とした研修会を充実し、福祉施設に働く看護職の資質向上に努めます。
- (4) 地区支部と連携した研修で、実践能力の向上を図ります。
- (5) 助産実践能力の強化を図ります。
- (6) 「特定行為に係る看護師の研修制度」について理解が深まるよう周知・普及啓発を行います。

2. 地域包括ケアシステムの構築と推進への積極的参加

医療提供のあり方が、「病院・施設から地域・在宅へ」大きくシフトする中、在宅医療を進める上で看護職の役割は非常に重要です。訪問看護の人材育成と確保、利用者の状態に応じた多職種・関係機関との調整・連携を図りながら在宅療養者とその家族のより良い支援のため、看護職間のネットワークづくりを強化します。

- (1) 地域医療のキーパーソンとなるため、会員一人ひとりがそれぞれの場所での看護の役割を認識し実践できるよう啓発します。

- (2) 地区支部単位で、関係団体と連携し看護職のネットワークづくりを強化します。

- (3) 県内全ての訪問看護ステーションの機能拡大と充実を支援します。

3. 働き続けられる労働環境改善の推進

看護職の労働環境改善に向けた取り組みがより積極的にできるよう働きかけ、看護職員の確保定着のため、離職の防止と潜在看護職員の再就業の支援等きめ細かな対応を推進します。

- (1) 看護職のワーク・ライフ・バランス (WLB) ワークショップ事業の対象施設を拡大していきます。
- (2) ナースバンク事業で、ハローワーク等と連携し潜在看護職員の就業を促進します。
- (3) 円滑な就業促進・復職支援のため「看護職の離職時等の届け出制度」の促進を図ります。

4. 看護を普及啓発し、県民の健康づくりの支援

各種イベントや広報活動を通して、看護の心・魅力を普及します。

- (1) 早い時期から看護職への理解と関心が深まるように、看護体験や小・中・高等学校への出前講座を実施し、普及啓発活動を行います。
- (2) 地区支部活動を通じて県民の健康づくりを支援します。

II その他の事業

1. 公益社団法人事業の展開と組織強化

- (1) 自治体の保健医療対策の推進に協力し、公益社団法人としての役割を果たしていきます。また、会員の拡大を図るため、継続的に働きかけをしていきます。
- (2) 協会立の訪問看護ステーションの経営の安定化を図ります。

議決事項

第一号議案 平成29年度改選役員及び推薦委員の選任 (案) (P12 参照)

第二号議案 平成30年度日本看護協会通常総会代議員及び予備代議員の選出 (案) (P13 参照)



平成29年度 公益社団法人栃木県看護協会 通常総会プログラム

日時 平成29年6月17日(土)
場所 とちぎ健康の森 2階 講堂

- 12:00 開 場
オリエンテーション
- 13:00 開 会
物故会員への黙祷
会長挨拶
来賓祝辞
来賓紹介
祝電披露
(休憩)
- 13:30 議長団選出
議事録署名人選出
- 13:40 議 事
報告事項
報告事項1 平成28年度活動報告
(総会・理事会・事業・委員会・
- 地区支部活動・訪問看護ステーション及び居宅介護支援事業・日本看護協会通常総会代議員)
- 報告事項2 平成28年度決算報告及び監査報告
- 報告事項3 平成29年度重点事業及び事業計画
- 報告事項4 平成29年度収支予算
- 提出議題
第一号議案 平成29年度改選役員及び推薦委員の選任(案)について
- 第二号議案 平成30年度日本看護協会通常総会代議員及び予備代議員の選出(案)について
- 15:40 新役員の紹介・旧役員への謝辞
協会歌斉唱
- 16:00 閉 会

平成29年度 公益社団法人栃木県看護協会 職能集会プログラム

開催日 平成29年6月17日(土)

種 別	保 健 師	助 産 師	看 護 師
会 場	とちぎ健康の森 1階 大会議室	とちぎ健康の森 2階 小会議室	とちぎ健康の森 2階 講堂
プログラム	8:40 受 付	8:40 受 付	8:40 受 付
	9:00 オリエンテーション 開 会 委員長挨拶	9:00 オリエンテーション 開 会 委員長挨拶	9:10 オリエンテーション 開 会 委員長挨拶
	9:10 日本看護協会保健師職能集会報告	9:10 日本看護協会助産師職能集会報告	9:20 日本看護協会看護師職能集会報告
	9:30 栃木県看護協会保健師職能委員会報告	9:30 栃木県看護協会助産師職能委員会報告 1. 研修会報告 2. その他	9:30 栃木県看護協会看護師職能委員会報告 1. 研修会報告
	9:50 説明 「個別性に着眼した人材育成のすすめ ～それぞれのキャリアデザインを描き、自ら主体的に成長していくために～」 説明者 保健師職能委員	10:00 講演 妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援の強化について 「周産期のメンタルヘルス対策」 講師 栃木県保健福祉部こども政策課担当者 那須赤十字病院 助産師 吉成律子	10:00 講演 「明日から役立つクレーム対応 Part2」 講師 有限会社工フェア 代表取締役 菊地理恵
	10:30 グループごとの意見交換		
	11:15 グループワーク結果の発表		
	11:30 アンケート記入	11:30 質疑応答、アンケート記入	11:30 質疑応答
	11:40 閉会	11:45 閉会	11:45 閉会
	※ 休憩は各自で随時		



平成 29 年度 重点事業

I 公益目的事業

1. 看護の安全性・専門性の向上と実践能力の強化

少子超高齢社会の対応、医療・介護提供体制の改革の動きなどから、看護職に期待される役割・能力はますます大きくなっています。いかなる場所で働く看護職であっても、社会からの要請に応えるため、質の高い看護を提供できるよう研修の充実を図ります。

- (1) 看護職全体の実践能力の強化のため、研修内容の充実を図ります。また、看護管理者の育成に力を注ぎます。
- (2) 訪問看護師養成研修、訪問看護師新人研修、訪問看護ステーション管理者研修等を実施し在宅医療を担う人材の育成を図ります。
- (3) 看護職能Ⅱを対象とした研修会を充実し、福祉施設に働く看護職の資質向上に努めます。
- (4) 地区支部と連携した研修で、実践能力の向上を図ります。
- (5) 助産実践能力の強化を図ります。
- (6) 「特定行為に係る看護師の研修制度」について理解が深まるよう周知・普及啓発を行います。

2. 地域包括ケアシステムの構築と推進への積極的参加

医療提供のあり方が、「病院・施設から地域・在宅へ」大きくシフトする中、在宅医療を進める上で看護職の役割は非常に重要です。訪問看護の人材育成と確保、利用者の状態に応じた多職種・関係機関との調整・連携を図りながら在宅療養者とその家族のより良い支援のため、看護職間のネットワークづくりを強化します。

- (1) 地域医療のキーパーソンとなるため、会員一人ひとりがそれぞれの場所での看護の役割を認識し実践できるよう啓発します。
- (2) 地区支部単位で、関係団体と連携し看護職のネットワークづくりを強化します。
- (3) 県内全ての訪問看護ステーションの機能拡大と充実を支援します。

3. 働き続けられる労働環境改善の推進

看護職の労働環境改善に向けた取り組みがより積極的にできるよう働きかけ、看護職員の確保定着のため、離職の防止と潜在看護職員の再就業の支援等きめ細かな対応を推進します。

- (1) 看護職のワーク・ライフ・バランス（WLB）ワークショップ事業の対象施設を拡大していきます。
- (2) ナースバンク事業で、ハローワーク等と連携し潜在看護職員の就業を促進します。
- (3) 円滑な就業促進・復職支援のため「看護職の離職時等の届け出制度」の促進を図ります。

4. 看護を普及啓発し、県民の健康づくりの支援

各種イベントや広報活動を通して、看護の心・魅力を普及します。

- (1) 早い時期から看護職への理解と関心が深まるように、看護体験や小・中・高等学校への出前講座を実施し、普及啓発活動を行います。
- (2) 地区支部活動を通じて県民の健康づくりを支援します。

II その他の事業

1. 公益社団法人事業の展開と組織強化

- (1) 自治体の保健医療対策の推進に協力し、公益社団法人としての役割を果たしていきます。また、会員の拡大を図るため、継続的に働きかけをしていきます。
- (2) 協会立の訪問看護ステーションの経営の安定化を図ります。



平成 29 年度 事業計画

I 公益目的事業

I-1 看護の安全性・専門性の向上と実践能力の強化に関する事業

事業	具体的計画など
1 看護職の資質向上の支援	
(1) 一般研修	<ul style="list-style-type: none"> ・新人研修 5 研修 延べ人数：1,410名 延べ日数：12日 ・ジェネラリスト研修 28研修 延べ人数：2,140名 延べ日数：84日 ・スペシャリスト研修 6 研修 延べ人数：180名 延べ日数：6 日 ・管理者研修 14研修 延べ人数：330名 延べ日数：16日 ・教育者・研究者研修 6 研修 延べ人数：220名 延べ日数：9 日
(2) 認定・養成研修	7 研修 延べ人数：350名
(3) トピックス	2 研修 延べ人数：550名 延べ日数：3 日
(4) 地区支部研修	各地区 主催、共催で実施予定

I-2 在宅医療の推進に関する事業

事業	具体的計画など
1 訪問看護及び居宅介護支援事業の運営	経営改善と安定した事業の展開
(1) 訪問看護ステーション事業の充実	<ul style="list-style-type: none"> ① 介護保険による訪問看護サービスの実施 ② 医療保険による訪問看護サービスの実施 ③ その他の制度による訪問看護サービスの実施 訪問看護年間目標延べ件数 <ul style="list-style-type: none"> ・とちぎ訪問看護ステーションうつのみや 訪問件数 6,600件 ・とちぎ訪問看護ステーションいまいち 訪問件数 4,800件 ・とちぎ訪問看護ステーションみぶ 訪問件数 12,000件 ・とちぎ訪問看護ステーションくろばね 訪問件数 4,080件 ・とちぎ訪問看護ステーションおやま 訪問件数 7,200件 ・とちぎ訪問看護ステーションたかねざわ 訪問件数 9,960件 ・とちぎ訪問看護ステーションあしかが 訪問件数 16,800件
(2) 居宅介護支援事業 ケアプラン作成や相談支援	<ul style="list-style-type: none"> ・居宅介護支援事業所うつのみや ケアプラン作成目標数 1,032件 ・居宅介護支援事業所みぶ ケアプラン作成目標数 540件 ・居宅介護支援事業所おやま ケアプラン作成目標数 600件 ・居宅介護支援事業所たかねざわ ケアプラン作成目標数 1,056件 ・居宅介護支援事業所あしかが ケアプラン作成目標数 1,260件
(3) ナーシングホーム事業	・ナーシングホームあしかが 8床 入居者月15名、年180名
(4) 訪問看護・居宅介護支援事業の質評価	・職員の自己評価 年1回
(5) 看護職員等の資質向上	<ul style="list-style-type: none"> ・当事業所主催研修会 ・新人研修・指導者研修 ・当事業所主催 事例検討&管理者研究会年12回 ・各事業所主催 技術修得学習会年12回 対象：各事業所職員 延1,000名 ・その他の研修会 参加職員1人平均 年3回
(6) 看護職・看護学生・福祉職等に対する教育支援 看護職・看護学生・福祉職等の実習受け入れ	<ul style="list-style-type: none"> ・看護大学生・看護専門学生・訪問看護師・介護福祉士等 看護基礎教育 16校 400名



事業	具体的計画など
(7) 地域住民への健康づくり活動支援	・地域住民に対する在宅療養者への相談・助言 来所&電話相談 年企画8回
(8) 関係機関との連携強化	・管轄地域市町における健康づくり活動への参加協力 5回 100名
(9) ステーション所長会議	・保健・医療・福祉関係機関、専門職等との連携会議 130回
(10) 居宅支援業務会議	・年12回
2 入退院連携共通シート推進事業	・年3回
3 訪問看護ステーション経営サポート事業	・年3回 ・退院支援、リーダーナースの育成のための研修会開催
4 多職種連携会議	・電話・来所相談、専門家によるコンサルテーション ・随時

I-3 看護職の労働環境等の改善及び雇用の質の向上等確保定着事業

事業	具体的計画など
1 看護職員確保定着の推進	
(1) ナースセンター事業	・栃木県ナースセンター事業運営委員会の開催
ア 看護師等無料職業紹介事業 (ナースバンク事業)	・ナースバンクの開所 年240日 (9:00~17:00) ・求人・求職就業等の目標利用件数 年5,000件 目標就業件数 年200件
・「看護師等の届出制度」	・就業ガイダンス等への参加 年1回
・就業相談	・求人情報紙の作成及び発行 毎月1回
・離職者調査・看護職の離職防止	・看護職の届出サイト「とどけるん」の周知PRと登録者支援
イ ハローワークとの連携	・登録目標 年200件 ・利用者ニーズに応じた再就業支援 ・アンケートにより退職理由を把握し分析 ・求人情報紙の提供と情報交換
	・「ナースセンター・ハローワーク連携事業」(ハローワーク宇都宮)
	・月1回(13:30~15:30)の求職者の相談、支援
	・合同事業の開催の提案
	・栃木、足利、真岡、小山、黒磯の各ハローワークで月1回(13:30~15:30) 「看護職の相談こ～な～す!」開催
(2) 復職支援研修事業	
ア 研修事業	・看護職員再就業支援研修 3コース 各年7回 各20名程度 ・訪問看護師養成講習会 定員 40名 訪問看護eラーニング・集合研修(講義と演習)・実習
2 働きやすい環境づくりの推進	
(1) 看護職の労働環境整備の推進	・社会経済福祉委員会の開催 年6回 ・研修会の開催 年1回
(2) 看護職のワーク・ライフ・バランス(WLB)推進事業	・看護職確保定着(WLB)推進委員会の開催 年4回程度 ・WLB推進事業参加施設の支援 ・インデックス調査(看護職個人調査・施設調査)の実施 (平成27年度から平成29年度11施設実施予定)
(3) 看護職のワーク・ライフ・バランス(WLB)推進ワークショップ等の企画・運営	・ワークショップ参加施設への説明会の開催 ・看護職のワーク・ライフ・バランス(WLB)推進ワークショップ開催 2日間 ・看護職のワーク・ライフ・バランス(WLB)推進フォローアップワークショップ開催 年1回

I-4 看護を普及啓発し、県民の健康づくりの支援に関する事業

事業	具体的計画など
<p>1 看護に関する普及啓発</p> <p>(1) 看護週間における行事</p> <p>ア 「看護の日」記念行事の開催</p> <p>イ ふれあい看護体験</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年1回 栃木県総合文化センター 記念講演 講師 北澤彰浩氏 テーマ「在宅医療の充実に向けて」 延べ1,600名目標 ・まちの保健室 (健康相談、血圧・体脂肪測定、超音波骨密度測定、タッチケア、AED 体験、その場でできる応急処置、災害支援ナースの活動紹介、進路・ 就職相談、ワーク・ライフ・バランス事業のPR、他) ・実施期間5月1日～8月31日まで 施設協力 64施設・体験約1,000名、体験者の中から3名を選出し記念 行事の開催日に体験発表する。
<p>2 県民に対する広報活動の強化</p> <p>ア ホームページの充実・ 利用の促進</p> <p>イ 広報委員会活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「看護とちぎ」の発行 年4回 各13,000部 (内ナースセンターニュース合同号 年2回) ・「防災ハンドブック」への広告掲載及びラジオでの協賛社名の放送 ・「看護への道」を発行・配布 14,000部発行 ・「看護の出前事業」の実施 「看護への道」冊子利用 開催目標 年25回(約3,000名) ・看護学生への就労啓発事業の実施 看護系教育施設での出前授業 目標18校 ・「看護とちぎ」の企画・編集、パンフレット作成 ・委員会 年4回、部会 年7回
<p>3 県民の健康づくり支援</p> <p>(1) 健康相談「まちの保健室」事業</p> <p>(2) 研修会・講演会の開催</p> <p>(3) 関係団体への教育事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・対面式健康相談 地区支部担当 年26回 1,700名 (宇都宮地区支部) 場所 FKD宇都宮店 年6回 奇数月第3土曜日、対象 地域住民 400名 (他、地区支部開催) 場所 学校、百貨店、イベント他 ・認知症、在宅医療、感染予防他 ・研修会の開催 ・出前講座及び相談、講師の派遣 ・ヒューマンフェスタへの参加 11月予定 対象 400名



Ⅱ その他の事業

Ⅱ-1 公益社団法人事業の展開と組織強化に関する事業

事業	具体的計画など
1 会員支援	・会員の進学支援
2 会員の福利厚生	・表彰及び推薦 ・会員特典等の拡大 ・会員慶弔見舞いなど
3 組織強化	
(1) 総会の開催	・総会の開催
(2) 関連機関との連携強化	・理事会、協議等会の開催 ・日本看護協会との連携 ・栃木県及び関連団体の役員・委員として参画 ・政策提言のための資料収集、データの蓄積 ・外部団体からの共催、後援依頼等に関する事項
4 会員数の増大	
(1) 会員数の増加	・目標 11,229名
ア 新人看護師等に対する加入推進	・看護管理者、教育担当者及び介護福祉施設等への働きかけ
イ 未加入者施設への加入推進	・看護学生他への協会活動のPR





資金収支予算書

平成29年 4月 1日から平成30年 3月31日まで

(単位:円)

科目	予算額(A)	前年度予算額(B)	増減(A)-(B)	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
特定資産運用収入				
特定資産賃貸料収入	1,800,000	1,800,000	0	連盟・協議会・駐車場賃貸収入
特定資産使用料収入	10,000	10,000	0	研修センター使用料収入
特定資産運用収入計	1,810,000	1,810,000	0	
入会金収入				
入会金収入	16,080,000	16,360,000	△ 280,000	新規入会者804名
入会金収入計	16,080,000	16,360,000	△ 280,000	
会費収入				
正会員会費収入	56,145,000	55,545,000	600,000	会員11,229名
会費収入計	56,145,000	55,545,000	600,000	
事業収入				
受講費収入	36,490,150	43,273,000	△ 6,782,850	受講料・委託金・訪問看護収入
委託事業収入	42,820,000	44,640,504	△ 1,820,504	
訪問看護・居宅介護支援事業収入	660,414,165	693,942,000	△ 33,527,835	
事業収入計	739,724,315	781,855,504	△ 42,131,189	
補助金等収入				
研修事業補助金収入	3,760,000	3,760,000	0	栃木県
教育助成金収入	8,275,000	8,243,000	32,000	日本看護協会
その他の補助金等収入	3,627,000	3,627,000	0	栃木県
看護の日普及啓発事業助成金収入	100,000	100,000	0	日本看護協会
補助金等収入計	15,762,000	15,730,000	32,000	
雑収入				
受取利息収入	15,000	34,000	△ 19,000	
雑収入	5,816,000	5,089,000	727,000	実習受入・広告代等
雑収入計	5,831,000	5,123,000	708,000	
貸付金返還収入				
修学貸付金返還収入		180,000	△ 180,000	修学貸付金返還
貸付金返還収入		180,000	△ 180,000	
事業活動収入計	835,352,315	876,603,504	△ 41,251,189	
2. 事業活動支出				
事業費支出				
役員報酬支出	7,700,000	9,212,000	△ 1,512,000	
給料手当支出	419,340,448	438,207,500	△ 18,867,052	
賞与支出	98,252,120	106,823,000	△ 8,570,880	
退職給付支出	9,626,400	7,407,600	2,218,800	
福利厚生費支出	3,964,000	4,254,000	△ 290,000	会員・職員の福利厚生
法定福利費支出	77,805,000	78,734,000	△ 929,000	役職員の社会保険料
旅費交通費支出	991,000	1,582,000	△ 591,000	役職員の旅費
通信運搬費支出	8,798,000	9,390,000	△ 592,000	協会ニュース送料・郵便料金・宅配料 他
消耗什器備品費支出	566,000	1,561,000	△ 995,000	
消耗品費支出	9,048,000	9,586,004	△ 538,004	事務用消耗品 他
修繕費支出	510,000	6,350,000	△ 5,840,000	システム機器修理
印刷製本費支出	10,593,000	9,310,000	1,283,000	教育計画・協会ニュース・学会誌・事業報告書 他
燃料費支出	5,910,000	8,378,000	△ 2,468,000	事業所車両燃料費 他
光熱水料費支出	6,277,000	6,702,000	△ 425,000	研修センター・事業所光熱費
賃借料支出	53,436,200	54,896,000	△ 1,459,800	会場設備使用料・車両リース料 他
保険料支出	1,420,000	764,000	656,000	建物火災保険料 他
諸謝金支出	22,085,000	25,290,000	△ 3,205,000	研修講師謝金
租税公課支出	8,092,000	8,256,000	△ 164,000	固定資産税・消費税・印紙税
委託費支出	14,447,000	16,997,000	△ 2,550,000	研修センター保守 他
図書費支出	909,000	1,043,000	△ 134,000	参考図書
会議費支出	4,202,000	6,214,000	△ 2,012,000	委員会費
職員研修費支出	1,776,000	1,787,000	△ 11,000	職員研修費
広告費支出	1,198,000	1,434,000	△ 236,000	新聞広告掲載 他
医療消耗品費支出	1,220,000	1,470,000	△ 250,000	
研修費支出	4,446,000	10,882,000	△ 6,436,000	研修会消耗品・雑費 他
支払手数料支出	483,000	460,000	23,000	振込手数料 他
諸会費支出	536,000	897,000	△ 361,000	公衆衛生会費 他
修学貸付金支出	360,000	600,000	△ 240,000	修学資金貸与
交際費支出	100,000	100,000	0	会員の慶弔・災害見舞金
雑費支出	0	3,975,000	△ 3,975,000	
事業費支出計	774,091,168	832,562,104	△ 58,470,936	



(単位：円)

科目	予算額(A)	前年度予算額(B)	増減(A)-(B)	備考
管理費支出				
役員報酬支出	7,700,000	9,212,000	△ 1,512,000	
給料手当支出	21,000,000	22,826,000	△ 1,826,000	
賞与支出	6,180,000	6,862,000	△ 682,000	
福利厚生費支出	204,000	225,000	△ 21,000	役職員の福利厚生
法定福利費支出	5,440,000	5,597,000	△ 157,000	役職員の社会保険料
会議費支出	1,758,000	2,041,000	△ 283,000	委員会費
交際費支出	100,000	100,000	0	祝金
旅費交通費支出	478,000	488,000	△ 10,000	役職員の旅費
通信運搬費支出	792,000	741,000	51,000	回線使用料・郵便料金・宅配料 他
消耗什器備品費支出	34,000	34,000	0	システム機器修理
消耗品費支出	382,000	538,000	△ 156,000	事務用消耗品 他
修繕費支出	50,000	50,000	0	システム機器修理
印刷製本費支出	1,052,000	2,347,000	△ 1,295,000	総会要綱・封筒 他
光熱水料費支出	585,000	630,000	△ 45,000	事務局光熱費
賃借料支出	203,000	191,000	12,000	総会会場使用料 他
保険料支出	350,000	350,000	0	役員保険 他
諸謝金支出	66,000	66,000	0	
租税公課支出	180,000	180,000	0	固定資産税・消費税・印紙税
寄付金支出	130,000	30,000	100,000	いのちの電話 他
職員研修費支出	122,000	122,000	0	職員研修費
委託費支出	2,860,000	2,553,000	307,000	顧問料・システム運用サポート・清掃代 他
諸会費支出	350,000	416,000	△ 66,000	諸会費
支払手数料支出	71,000	71,000	0	振込手数料 他
図書費支出	60,000	100,000	△ 40,000	参考図書
管理費支出計	50,147,000	55,770,000	△ 5,623,000	
事業活動支出計	824,238,168	888,332,104	△ 64,093,936	
事業活動収支差額	11,114,147	△ 11,728,600	22,842,747	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
特定資産取崩収入				
退職給付引当資産取崩収入	9,626,400	7,407,600	2,218,800	
特定資産取崩収入計	9,626,400	7,407,600	2,218,800	
投資活動収入計	9,626,400	7,407,600	2,218,800	
2. 投資活動支出				
特定資産取得支出				
退職給付引当資産取得支出	3,426,840	11,647,000	△ 8,220,160	役職員退職に備えた積立
レプト請求システム資産取得支出	4,000,000	4,000,000	0	レプト請求システム購入に備えた積立
特定資産取得支出計	7,426,840	15,647,000	△ 8,220,160	
固定資産取得支出				
什器備品購入支出		594,000	△ 594,000	
固定資産取得支出計		594,000	△ 594,000	
投資活動支出計	7,426,840	16,241,000	△ 8,814,160	
投資活動収支差額	2,199,560	△ 8,833,400	11,032,960	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計				
2. 財務活動支出				
財務活動支出計				
財務活動収支差額				
IV 予備費支出				
当期収支差額	13,313,707	△ 20,562,000	33,875,707	
前期繰越収支差額	164,766,590	169,037,157	△ 4,270,567	
次期繰越収支差額	178,080,297	148,475,157	29,605,140	

1. 借入金限度額 100,000,000円

2. 債務負担額 平成30年度 26,338,626円 平成31年度 16,332,516円

平成29年度 公益社団法人栃木県看護協会 理事・監事・委員候補者一覧

公益社団法人栃木県看護協会定款第5章、細則第4章に基づき、理事9名、監事1名、保健師職能委員4名、助産師職能委員4名、看護師職能委員7名、推薦委員7名、計32名の立候補者を推薦並びに候補の受付を行いました。

推薦委員長 猪熊 洋子

1. 役員 改選 (10名)

	役職名	氏名	施設名	推薦	立候補
1	副会長	福田 敬子	日光市役所	○	
2	専務理事	鱒 渕 清子	公益社団法人栃木県看護協会	○	
3	常任理事	馬 込 公子	公益社団法人栃木県看護協会	○	
4	保健師職能理事	五月女 祐子	栃木県県南高等看護専門学院	○	
5	理事	谷田貝 理恵	とちぎメディカルセンターしもつが	○	
6	理事	高橋 美知子	那須赤十字病院	○	
7	理事	細野 克子	西方病院	○	
8	理事	坂上 和江	真岡病院	○	
9	理事	亀井 令子	栃木県立衛生福祉大学校	○	
10	監事	荒木 剛	荒木税務会計事務所	○	

2. 推薦委員 (7名)

	役職名	氏名	施設名	推薦	立候補
1	委員	大竹 公子	獨協医科大学病院	○	
2	委員	上野 久子	自治医科大学附属病院	○	
3	委員	櫛田 恵津子	国際医療福祉大学病院	○	
4	委員	黒崎 道	栃木県精神保健福祉センター	○	
5	委員	高川 真紀	済生会宇都宮病院	○	
6	委員	藤田 律子	大田原市役所	○	
7	委員	吉田 登美恵	佐野厚生総合病院	○	

3. 保健師・助産師・看護師職能委員 (保4名・助4名・看7名)

	役職名	氏名	施設名	推薦	立候補
1	保健師職能委員	大友 昌子	宇都宮市役所	○	
2	委員	田沼 かおり	県東健康福祉センター	○	
3	委員	根本 幸子	鹿沼市役所	○	
4	委員	原田 千佳子	県北健康福祉センター	○	
1	助産師職能委員	今泉 玲子	獨協医科大学看護学部	○	
2	委員	塚田 祐子	自治医科大学附属病院	○	
3	委員	星 宏枝	済生会宇都宮病院	○	
4	委員	山本 仁美	芳賀赤十字病院	○	
1	看護師職能委員	磯部 由美子	国際医療福祉大学塩谷病院	○	
2	委員	齋藤 美樹	老人保健施設かみつが	○	
3	委員	篠原 明子	芳賀赤十字病院	○	
4	委員	生井 郁子	獨協医科大学病院	○	
5	委員	野沢 英子	特別養護老人ホーム桜の華	○	
6	委員	檜山 孝子	栃木県立がんセンター	○	
7	委員	余川 由紀子	済生会宇都宮病院	○	

平成30年度 公益社団法人日本看護協会通常総会 代議員並びに予備代議員

平成30年度公益社団法人日本看護協会通常総会代議員数について、定款・細則に基づき公益社団法人栃木県看護協会は「12名」の代議員並びに同数の予備代議員が決まり、公益社団法人日本看護協会長より通知がありました。

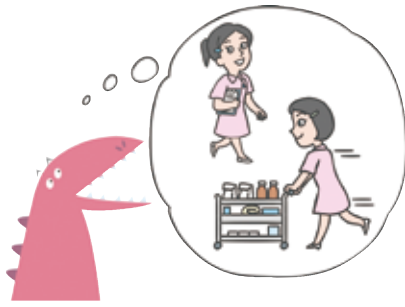
推薦委員長 猪熊 洋子

代議員（保健師 3 助産師 3 看護師 5 准看護師 1）

	氏名	役職
1	朝野春美	副会長
2	福田敬子	副会長
3	鱒淵清子	専務理事
4	馬込公子	常任理事
5	五月女祐子	保健師職能委員長
6	佐藤君江	助産師職能委員長
7	齋藤由利子	看護師職能委員長
8	坂上和江	准看護師代表
9	矢口千秋	宇都宮地区代表
10	下田典子	小山地区代表
11	戸崎敦代	県東地区代表
12	野沢英子	看護師職能代表

予備代議員（保健師 3 助産師 1 看護師 7 准看護師 1）

	氏名	役職
1	仁戸部富恵	看護師代表
2	原田千佳子	保健師代表
3	谷田貝理恵	栃木県看護協会
4	糟谷真知子	栃木県看護協会
5	根本幸子	保健師職能委員
6	塩田利江	助産師職能委員
7	篠原明子	看護師職能委員
8	五十嵐宏通	准看護師代表
9	小川洋子	宇都宮地区代表
10	稲葉節子	県北地区代表
11	駒場悦子	県西地区代表
12	齋藤美樹	看護師職能代表



看護職のワーク・ライフ・



●平成26年度

宇都宮中央病院

1. 主な取り組み内容

- ①WLB推進委員会の立ち上げ、構成メンバーは多職種からの7名
- ②就業規則・制度の周知
- ③時間外勤務、始業前勤務の改善に向けた業務の見直し
- ④離職後のアンケート実施
- ⑤計画的連続休暇の取得に向けた取り組み
- ⑥肩こり・腰痛改善に向けた取り組み

2. 取り組んだ結果（成果）や職員の意識変化

- 平成26年9月からWLB推進委員会を立ち上げて月1回の会議を開催。職員参加型の研修会などを実施。WLB推進について職員の理解が深まった。
- 就業規則についてリーフレットを全職員へ配布。規則・制度の理解度が上がった。

- 「時間外勤務」は322分が128分へ、「始業前勤務」は47.7%が45.9%へ改善。
- 計画的連続休暇の取得に向けた取り組みは、連続休暇取得者が増えた。
- ストレッチ教室を実施した結果、「まあまあ健康である」は61.2%が71.2%と改善。

3. 院長からひとこと

（これから取り組まれる施設へメッセージ等）

平成26年9月のWLB推進委員会立ち上げ後より、病院として業務改善を3年間支援することで職員の意識も高まり大幅に改善致しました。病院にとりまして人材の確保は最も重要であり、今後もWLB推進を大切にしていって職場を目指して参ります。これから全職員で取り組むことで助け合いの職場文化が醸成できると思います。



宇都宮東病院

1. 主な取り組み内容

- ①WLB・就業規則の周知への支援
- ②始業前残業時間の削減
- ③有給休暇に関する自己管理の徹底
- ④法人内の教育推進委員会の充実

2. 取り組んだ結果（成果）や職員の意識変化

- ①WLBの説明会を行い3年間で50%以上の周知となった。就業規則を入職者や現職員に資料を使用して説明をした。また個々に必要性のある事をその都度説明した。保育園の充実により夜間保育や病児保育が整備された事などで病院の将来的な満足度が上がり、離職率低下につながった。
- ②業務改善を行い、就業開始と終了コールの実施により始業前残業が削減できた（41.7%→4.8%）。

- ③有給休暇に関わる事を個々に説明することで自己管理への意識が高まり周知できた（36%→78.8%）。長期休暇取得の満足度を向上するため、ポスターや休暇カレンダーを作成し啓蒙活動をした。
- ④法人内の教育推進委員会の充実により教育計画に従い研修が行われ、研修実施とその支援への満足度は3年目で81.7%になった。キャリア開発の教育体制が整い、今後は人事考課への満足度向上に努めたい。

3. 院長からひとこと

（これから取り組まれる施設へメッセージ等）

仕事と生活を調和する試みは個人のキャリアパスや人生を豊かにするだけでなく、職場の人材活用による社会貢献です。将来のために働き方や生き方への挑戦をしようではありませんか。



小金井中央病院

1. 主な取り組み内容

- ①WLB推進体制の構築
- ②就業規則に対する周知拡大
- ③残業時間の削減に向けた対策
- ④年次休暇の計画的取得の促進
- ⑤親睦会の活性化、地域貢献・健康祭りの開催

2. 取り組んだ結果（成果）や職員の意識変化

- 各部署計17名でWLB委員を構成し、病院組織での位置づけの確立ができた。月に1度委員会を開催し、お互いの部門の業務を分かり合うことができた。
- 職員の働き方改善により、働きやすい職場環境の構築のために、時間外勤務の削減、有給休暇の取得向上を目指し、全職員にアンケートを取り、実情を知ることができた。結果を踏まえ、気兼ねなく帰れる職場風土づくりをし、残業時間の削減に繋がった。また、連続休暇の

希望が多くあり、年間計画を立てることににより、連続休暇の取得が可能になり、有給休暇取得率を45.8%から59.4%に引き上げることができた。

親睦会の活性化とし、職員の誕生月の昼食にお菓子をつけた。地域貢献、病院のイメージアップのため平成28年10月に「第1回健康祭り」を開催し、大好評だった。

就業規則の説明会を実施し、制度の周知ができ、利用しやすくなった。

3. 院長からひとこと

（これから取り組まれる施設へメッセージ等）

当院では平成26年10月、看護部からの提案により[WLB推進委員会]が発足し、一定の成果を上げているところです。この試みもようやく緒に就いてきたという感じであり、今後の展開が期待されます。





バランス(WLB)推進事業



～3年間の取り組み～

参加施設

芳賀赤十字病院

1. 主な取り組み内容

- ①WLB推進体制の構築
- ②就業規則理解の促進
- ③有給休暇取得の推進
- ④時間外勤務の削減

2. 取り組んだ結果(成果)や職員の意識変化

- WLB推進委員とリンクナースとの、合同委員会を定期的に開催した。全職員を対象としたアンケート調査は毎年実施、それらの結果をWLB通信に掲載し活動の理解と周知を行った。
- 就業規則説明会は、アンケート結果を踏まえて毎年実施し、就業規則の内容を平易に説明することで、結婚や育児、介護などライフステージにおける具体的な休暇の取得について理解してもらい、積極的な休暇取得促進に繋がった。
- 年間10日以上の有給休暇取得と、7日間の連続休暇の取得を課題とした。各部署のリンクナースを中心に各部署で具体策を検討・実施し、その結

果、有給休暇取得状況は、3年目には9.2日となった。インデックス調査の「有給休暇は必要に応じて取得できる」が32.4%から41.6%に、「一週間程度の連続した休暇取得状況」が33.5%から52.6%になった。

- 時間外勤務調査のアンケートでは、各部署で問題点を抽出、業務改善やNO残業DAYの導入となった。職員一人ひとりの意識が変化し、お互い様の気持ちが支え合う職場環境づくりに繋がってきたと考える。

3. 院長からひとこと (これから取り組まれる施設へメッセージ等)

WLB推進委員会は他職種が参加し、活発に取り組まれ大変有意義な活動だったと思います。3年間の取り組みの成果として、活き活きとした職場環境に変化しつがあると実感しております。今後も、活動を継続し更なる成長を期待します。



(平成31年度開院予定)



独立行政法人国立病院機構 栃木医療センター

1. 主な取り組み内容

- ①WLB推進体制の構築
- ②WLB支援制度の周知
- ③超過勤務時間の削減
- ④有給休暇の取得促進
- ⑤看護ケアの充実

2. 取り組んだ結果(成果)や職員の意識変化

- ①リンクナースが中心になってWLB推進活動を実施し、スタッフの声が反映できた。院外講師の講演会により、WLBへの理解が得られ、「WLBとは生産性を上げて私生活を充実させること」「個人が変わることが大切」とWLBへの意識変化があった。
- ②看護師長・副看護師長がWLBを理解し部署の職場環境改善に取り組むことができています。労務管理の勉強会を行い疑問点が解決し、多様な勤務形態に対応している。

- ③定時退勤日を設定し強化月間をポスター等でアピールしたことで職員への意識付けになり、終業したら帰る風土ができて始めている。
- ④有給休暇の取得促進のために記念日休暇を設けて公平にとれるようにした。
- ⑤在宅支援研修で地域関連施設でのシャドー研修を行った。病院では知ることができなかった在宅での患者さんの様子や支援の内容など新たな発見がモチベーションアップにつながり仕事に対して前向きになった。

3. 院長からひとこと (これから取り組まれる施設へメッセージ等)

3年間WLB推進事業に取り組み、出産・子育てに関する制度の活用に関しては定着してきました。これからも他職種との連携や協力体制が構築でき、さらに働きやすい職場づくりに期待します。



佐野厚生総合病院

1. 主な取り組み内容

- 基本方針：①業務改善の推進 ②チーム医療の実践 ③有給休暇取得率増加
- ①就業規則周知・超過勤務時間把握・処遇改善・時間管理の意識付け・リリーフ体制整備
 - ②安全衛生委員会参加・広報活動(看護部紹介ビデオシリーズ3部作制作)・病棟薬剤師業務の見直し強化・指示出し時間厳守の協力要請・前残業緩和対策・PFM業務充実
 - ③時間単位の取得・アニバーサリー休暇の導入

2. 取り組んだ結果(成果)や職員の意識変化

- ①看護師業務負担軽減に向けた多職種(医師・薬剤師・検査科・栄養科・事務部)との連携強化による支援体制の整備。
- ②インデックス調査結果：「看護職を大切にする組

織」「定時に業務が終了」「有給休暇取得」の項目が増加。

- ③処遇改善
- 看護師手当、夜勤手当・パート賃金増額、住宅手当、交通費見直し、白衣(スクラブ)導入の実現によりモチベーションアップ及び離職率低下に繋がった。
- 有給取得率前年比2.3%増加した。

3. 院長からひとこと (これから取り組まれる施設へメッセージ等)

多忙な看護業務の負担軽減、効率化、合理化、安全・高水準化を目指し、みんなの力でWLBを推進しましょう。





平成29年度入会申し込み受け付け中！

平成29年度の入会申込書はお済みですか？

新会員情報管理体制「ナースシップ」の稼働に伴い入会の手続き方法が以前と異なっております。入会申し込みの手続きがお済みか、いまいちどご確認ください。

手続きの流れ

Step1 入会申込書の記入・提出

- 1) 勤務先の施設代表者に会費の支払い方法を確認し、下記のいずれかを記入してください。
 - 「勤務先で取りまとめて納入」
 - 「口座振替」
 - 2) 勤務先に入会申込書を提出してください。(勤務先が取りまとめて「会員登録事務局」に提出。)
- ※ 「継続申請書」をお持ちの方は内容を確認してください。
新規・再入会または「継続申請書」を紛失された方は「入会申込書／会員情報変更届」をご利用ください。

Step2 会費の納入

申込書に記入した下記いずれかの納入方法でお支払いください。

- 「勤務先で取りまとめて納入」の場合
 - ➔ 施設代表者へお支払い
- 「口座振替」の場合
 - ➔ 申請書に記入した口座からの自動引き落とし



継続申請書



入会申込書/会員情報変更届
(新規または再入会者用)

優待特典

《リフレッシュ》

ビッグツリー スポーツクラブ 入会金+事務手数料
8000円が無料 月会費1000円引き
(会員本人とともに看護協会職員も) 会員証を提示
<http://www.bigtree-net.jp>
宇都宮市桜5-2-5 Tel 028-639-7777
矢板カントリークラブ フレー料金をビジター料金より
10%OFF 会員証を提示 <http://www.j-alpha.com>
矢板市平野1364 Tel 0287-44-1121

《リラクゼーション》

癒しハウス蘭
○整体・足ツボ・フェイスケア・アロマリンバトリートメント・
フット角質ケアコース・デトックスなど
通常料金から初回は30%OFF 2回目以降は20%
OFF
または20分無料サービス(40分以上コースは除外)
会員証を提示 (完全予約制)
<https://beauty.hotpepper.jp/kr/slnH000271678/?vos=evhbky0016x10030761>
Tel 028-680-7736
宇都宮市峰4-24-20 コーポ吉田1階(P有り)

《温泉》

鬼怒川パークホテルズ 宿泊料及び日帰り入浴料10%引き
(本人含め5人まで) 会員証を提示
電話予約要 <http://www.park-hotels.com/>
Tel 0288-77-1289 日光市鬼怒川温泉大原1409
湯けむりまごころの宿「一心館」 宿泊料及び日帰り入浴
料10%引き
(本人含め5人まで) 会員証を提示
電話予約要 <http://www.i-spa.co.jp/>
Tel 0288-77-0008 日光市鬼怒川温泉滝542-3
鬼怒川プラザホテル 宿泊料及び日帰り入浴料を10%引き
(本人含め5人まで) 会員証を提示 電話予約要
特別プラン等は除外
<http://www.kinugawa.co.jp/plaza/>
Tel 0288-76-1031 日光市鬼怒川温泉滝530
花の宿「松や」 宿泊料及び日帰り入浴料を10%引き
(本人含め5人まで) 会員証を提示
電話予約要 現金のみ(クレジット不可)
除外日あり <http://www.matsuya.co.jp/>
Tel 0288-77-1221 日光市鬼怒川温泉藤原19
ホテルサンシャイン
鬼怒川 宿泊料及び日帰り入浴料を10%引き

(本人含め5人まで) 会員証を提示
電話予約要
<http://www.sunshine-kinugawa.co.jp/>
Tel 0288-77-2727
日光市鬼怒川温泉大原1437-1
湯けむりの里
「柏屋」 宿泊料及び日帰り入浴料を10%引き(本人含め
5人まで)
※記念日の旅行に記念品をご用意 会員証を提示
電話予約要 <http://www.kashiwaya-kawaji.jp/>
日光市川治温泉高原62
Tel 0288-78-0002
きぬ川ホテル三日月 宿泊料及び日帰り入浴料を10%引き
(本人含め5人まで) 会員証を提示
電話予約要
<http://www.mikazuki.co.jp/kinugawa/>
日光市鬼怒川温泉大原1400 Tel 0288-77-2611
鬼怒川温泉「山楽」 宿泊料及び日帰り入浴料を10%引き
(本人含め5人まで) 会員証を提示
電話予約要
<http://www.sanraku.premierhotel-group.com/kinugawa/>
日光市鬼怒川温泉大原1060 Tel 0288-76-2211
きぬ川不動滝 宿泊料及び日帰り入浴料を10%引き
(本人含め5人まで) 会員証を提示
電話予約要 <http://www.fudotaki.com/>
日光市鬼怒川温泉大原656-1
Tel 0288-76-2008
ほてる白河湯の蔵 宿泊料及び日帰り入浴料を10%引き
(本人含め5人まで) 会員証を提示
電話予約要
<http://www.shirakawa-yunokura.com/>
日光市鬼怒川温泉滝483 Tel 0288-76-0020
源泉の宿 らんりょう 宿泊料及び日帰り入浴料を10%
引き
(本人含め5人まで) 会員証を提示
電話予約要 <http://www.ranryo.co.jp/>
日光市川治温泉川治11 Tel 0288-78-0044
ホテル梅の季 宿泊料及び日帰り入浴料を10%引き
(本人含め5人まで) 会員証を提示
電話予約要 <http://www.tsuganoki.com/>
日光市鬼怒川温泉大原1438-1
Tel 0288-77-0002
溪流の宿 緑水 宿泊料及び日帰り入浴料を10%引き
(本人含め5人まで) 会員証を提示

電話予約要 <http://www.ryokusui.tv/>
日光市鬼怒川温泉滝861-3 Tel 0288-77-4001
旅の宿 丸京 宿泊料及び日帰り入浴料を10%引き
(本人含め5人まで) 会員証を提示
電話予約要 <http://www.marukyoo.com/>
日光市鬼怒川温泉大原1388-3
Tel 0288-76-0050
あさや 宿泊料及び日帰り入浴料を10%引き
(本人含め5人まで) 会員証を提示
電話予約要 <http://www.asaya-hotel.co.jp/>
日光市鬼怒川温泉滝813 Tel 0288-77-1111
鬼怒川温泉ホテル 宿泊料及び日帰り入浴料を10%引き
(本人含め5人まで) 会員証を提示
電話予約要
<http://www.kinugawaonsenhotel.com/>
日光市鬼怒川温泉滝545 Tel 0288-77-0025
きぬ川国際ホテル 宿泊料及び日帰り入浴料を10%引き
(本人含め5人まで) 会員証を提示 電話予約要
犬・猫同伴ホテル
<http://www.kinugawakokusaihotel.co.jp/top.html>
日光市鬼怒川温泉滝540 Tel 0288-77-0019
乃木温泉ホテル 宿泊料10%OFF等
(本人含め5人まで) 会員証を提示
<http://www.j-alpha.com>
那須塩原市下永田1-993-11 Tel 0287-37-4126

《冠婚葬祭》

アルファクラブ(株)
【葬祭部】
さかみ典礼・県内33葬祭施設 葬儀一式20%OFF
会館使用料20%OFF
会員証を提示 <http://www.j-alpha.com>
宇都宮市溝の原2-4-25 Tel 028-638-5000
【冠婚部】
ベルヴィグループ 婚礼衣装30%OFF 会場費は無料
送迎バス(御両家)各1台無料提供 会員証を提示 宇都宮
市大通り5-3-9

《レストラン》

日光総業(株)の運営レストラン
○西洋料理「明治の館」 ○明治の館別館「游晏山房」
○ステーキハウス「みはし」 ○精進料理「養心亭」
○霧降高原「山のレストラン」
各店舗とも食事の場合、グラスワインorソフトドリンク一
杯をサービス



一般の方へのコーナー

脳卒中予防 十か条

栃木県版

これ守っとこれ いいあんばいになっから

1

したっけ
高血圧から
治すっぺ

手始めに 高血圧から 治しましょう

2

糖尿病

ほっといたら
えんがみるよ

糖尿病 放っておいたら 悔い残る

3

不整脈

見つかったっくれ
すぐ受診

不整脈 見つかれば すぐ受診

4

予防には
タバコを止めんと
しゃああんめ

予防には タバコを止める 意思を持って

5

アルコール

控えめは薬
過ぎたら毒だんびゃ

アルコール 控えめは薬 過ぎれば毒

6

高すぎる
コレステロールも
早くめっけよ

高すぎる コレステロールも 見逃すな

7

ごはん時
塩分・脂肪を
控えるといかんべ

お食事の 塩分・脂肪 控えめに

8

体力に
合った**運動**
つづけっぺ

体力に 合った運動 続けよう

9

万病の 引き金に
なっかんね
太りすぎ

万病の 引き金になる 太りすぎ

10

だいじけえ?
脳卒中
起きたらすぐに
病院行くべ

脳卒中 起きたらすぐに 病院へ



栃木県看護大会『看護の日』記念行事

平成29年 **5月13日(土)** 会場：栃木県総合文化センター メインホール
時間：10:00～15:00 **【入場無料】**



※ 記念講演 (13:30～15:00)
テーマ：「在宅医療の充実に向けて」
～安心して暮らせる地域包括ケア実現のために～
北澤彰浩氏 【佐久総合病院診療部長】

滋賀医科大学卒業後、杏林大学付属病院救急医学教室入局。
スリランカを中心にインド、ネパール、パキスタンで1年間ボランティア活動。
佐久総合病院に入职し、地域ケア科医長、老人保健施設副施設長、小海
診療所所長等を歴任し平成26年から現職。いのちと暮らしに寄り添う
地域ケアをめざして在宅医療に取り組んでいる。
著書：特集「在宅での看取りにおける家族ケア」
地域での「死生観・看取り」についての教育
《家族看護vol.12, 2014 日本看護協会出版会》ほか

- ※ 栃木県看護大会式典 (10:00～11:20)
- ※ ふれあい看護体験発表 (11:35～12:00)
- ※ 「心の中の看護エピソード」朗読・表彰 (13:00～13:20)
- ※ 街頭キャンペーン(とちまるくん・ナイチュウがお出迎え！)
- ※ まちの保健室 (10:00～15:00)
 - *健康相談、血圧・体脂肪・骨密度測定
 - *タッチケア・助産師の仕事紹介
 - *AED体験、その場でできる応急処置
 - *災害支援ナース活動の紹介
 - *WLB(ワーク・ライフ・バランス)活動の紹介
(マスコットキャラクター：カネゴサウルス登場！)
 - *訪問看護と介護保険相談
 - *臓器移植のPR
- ※ 進路・就職相談室 (10:00～15:00)
～育てよう看護の心～
 - *看護師、保健師、助産師になるためには
 - *仕事のこと、気になるあれこれ
(現役看護師が対応します。)
- ※ お子様白衣モデル体験 (10:00～15:00)
～未来のナースの写真をどうぞ～
- ※ 「看護」の魅力 (10:00～15:00)
～看護っていいね！～
- ※ 企業展示(3社) (10:00～15:00)
東洋羽毛北関東販売網株式会社シーボン
白十字株式会社



平成29年度ふれあい看護体験

県内 64 病院等にて(5月～8月)に実施予定
※詳細は栃木県看護協会にお問い合わせください。

主催：栃木県 公益社団法人栃木県看護協会 一般社団法人日本精神科看護協会栃木県支部 一般社団法人栃木県助産師会
お問い合わせ先：公益社団法人栃木県看護協会 ☎028-625-6141

※『看護の日』記念行事は、消費財の廃処分を活用した地域医療介護総合確保基金を財源とした栃木県奨励事業です。



いのちに寄り添う
プロフェッショナルとして。

私たちは個人看護には、それぞれの専門性があり、
一人ひとりに対しての力を発揮し、その人に合ったケアを提供し、愛をこめて
私たちは、責任や使命感をもち、患者さんやご家族の方と向き合える仕事です。
だから、もっともっと専門性を磨き続けたい！
経験や成長して、学び続ける……
突き進むことで、責任をこらえ、
これからの未来、いのちを預かる看護が、よりいっそう
発展していきなすことを目指します。

5月7日(日)～5月13日(土)は
看護週間



5月12日は看護の日

キャリアナースにご登録ください

キャリアナースは、経験を積んでキャリアアップしたい看護職の皆さまを応援します！

日本看護協会では、新会員情報管理体制「ナースシップ」のスタートに合わせて、会員の皆さまのキャリア構築を支援する会員専用WEBサイト **キャリアナース** の提供を、2016年10月より開始しました。



キャリアナースはこんなに便利！

自身の会員情報の確認や変更の手続きが簡単にできます。

キャリアナースにユーザー登録していただきますと、ご自身の会員情報や活動歴がパソコン・スマートフォンから確認できます。勤務先や住所の変更手続きや会費の領収書の発行も可能です。

電子会員証を表示できます。

ユーザー登録していただくと、スマートフォンなどで電子会員証を表示できます。プラスチック製の会員証を携帯していなくても、研修受講時などにスマートフォンで会員情報の確認ができます。

平成28年度物故者氏名

藤野はるみ様	平成28年 8月31日 (50歳)
三品 君枝様	平成28年 9月25日 (57歳)
根本紗貴子様	平成28年12月10日 (28歳)
吉住 克枝様	平成29年 1月 4日 (52歳)

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。